

社団法人 日本病院会 平成18年度 第10回 定例常任理事会 合同会議 概要報告
第3回 定例理事会

日 時 平成19年1月15日(月) 午後1時～4時30分

場 所 東京都・千代田区 帝国ホテル 本館2階「牡丹の間」

出席者 48名(定数60名、出席32名、委任状16名、計48名で過半数を超え会議は成立)

山本会長から、新年を迎えての開会挨拶後、本日開催される新年賀詞交歓会、来年3月に現執行部が任期満了を迎え役員改選への協力依頼が述べられた。議事録署名人に末永裕之、石井和博両理事を選任し議案審議に入った。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

正会員の入会1件、正会員の退会1件、賛助会員の退会5件(A会員1件、B会員2件、D会員2件)の届出について協議をし、届出を承認。

1月15日現在、正会員2,699会員(公的936会員、私的1,763会員)、賛助会員502会員(A会員119会員、B会員338会員、D会員45会員)

2. 各団体からの依頼について

下記依頼事項を協議し、依頼を承認した。

(継続:協力・後援依頼)

- ①産業廃棄物適正処理推進センター基金への出えん(環境大臣)
- ②第13回第1種ME技術実力検定試験および講習会(社団法人 日本生体医工学会)
- ③プライメッド・ジャパン2007(プライメッド・ジャパン実行委員会)
- ④全国3都市で開催する「ホスピタルショウ」(社団法人 日本経営協会)

3. 人間ドック健診施設機能評価の認定について

下記3施設の指定を承認した。

- ①栃木県済生会宇都宮病院健診センター
- ②総合病院 庄原赤十字病院
- ③聖隷沼津第一クリニック 聖隷沼津健康診断センター

4. 診療情報管理課程通信教育認定試験受験指定校の指定について

下記1校の指定を承認した。

- ①名桜大学(沖縄県)

5. WHO-FIC(世界保健機関国際分類ファミリー)に関する事務の協力について

厚生労働省大臣官房統計情報部(人口動態・保健統計課)から本会あて依頼のあった①WHO-FIC アジア・パシフィックネットワークへの対応②WHO-FIC 普及委員会の運営についての協力内容を説明し、協力依頼を承認。

6. 日本病院学会会則の変更について

11 月期常任理事会で提出した原案を理事会で協議し、第 4 条(事業)第 2 項の語句を一部訂正し、原案を承認した。

〔協議事項〕

1. 平成 19 年度事業計画(案)の策定について

平成 19 年度の新規事業等として下記事項を逐一説明があり、原案を承認した。なお、原案を 3 月 24 日の総会に提出するに当たり、追加等があった場合は事務局へ報告願ひ、速やかに理事会構成員に周知、承認を求めることとした。

(事業計画・新規分)

1. 病院職員の養成・確保に関する事項
 - ・ 人間ドック健診情報管理指導士の養成
2. 公衆衛生と地域医療に関する事項
 - ・ 特定健診・特定保健指導に関する調査研究
3. 認定個人情報保護団体に関する事項
 - ・ 対象事業者の個人情報取扱いに関する苦情処理
 - ・ 個人情報に関する情報収集並びに情報提供
 - ・ 対象事業者に対する研修の実施
4. 関連事業
 - ・ 第 57 回日本病院学会の開催(学会長:藤原秀臣 総合病院土浦協同病院病院長)
(平成 19 年 6 月 14 日(木)～15 日(金)・つくば市)
 - ・ 第 48 回日本人間ドック学会学術大会(学会長:中村治雄 三越厚生事業団常務理事)
(平成 19 年 8 月 30 日(木)～31 日(金)・東京都)
 - ・ 第 33 回日本診療録管理学会学術大会の開催
(学会長:武田 隆男 武田病院グループ会長)
(平成 19 年 9 月 13 日(木)～14 日(金)・京都市)
 - ・ 国際モダンホスピタルショウ(IMHS) 2007 の開催
(平成 19 年 7 月 11 日(水)～13 日(金)・東京都)
5. 病院経営に関する委員会
 - ・ 病院幹部医養成委員会の設置
 - ・ 事務管理者委員会の設置
6. セミナー計画
 - ・ 医療安全管理者養成セミナー(仮称)の開催
 - ・ 感染制御セミナー(仮称)の開催
 - ・ 臨床研修指導者養成セミナー(仮称)の開催

上記の養成事業は、四病協の研修・認定センターで事業を実施していたが、一度、

白紙に戻し各団体で養成を図ることとした。

7. 認定個人情報保護団体の研修事業
 - ・個人情報保護対応研修会(仮称)の実施
8. 人間ドック認定医研修会及び人間ドック健診情報管理士養成実施計画
 - ・人間ドック健診情報管理指導士養成研修会の実施
9. 四病協・研修・認定センター講習会(平成18年度の継続分)
 - ・第5回感染管理講習会の実施
10. 役員会等の開催計画について
 - ・常任理事会(19年4/28、7/28、8/29、9/29、10/27、11/17、12/15、20年2/23)
 - ・理事会(19年5/26、6/13、20年1/15、3/22)
 - ・代議員会・総会(19年5/26、20年3/22)
 - ・日本病院学会(19年6/14～6/15・茨城)
 - ・病院長・幹部職員セミナー(19年8/2～8/3・東京都)

2. 役員改選について

平成19年3月の役員改選に伴い、選挙告示(平成18年12月1日)を実施し、各都道府県に代議員の選出(届出は平成19年1月25日)、理事、監事立候補(届出は平成19年2月9日)となっている。新代議員の選出については届出が完了した時点で各理事に送付し、意見提出願い2月24日の常任理事会、3月24日の理事会での承認を図ることです承。

3. その他

- ①日本医師会から、准看護師養成所の実習を積極的に受け入れてもらいたい旨の依頼を紹介。

〔報告事項〕

1. 各委員会関係の開催報告について

(1) 地域医療委員会(第23回・12月19日)

- ①「勤務医に関する意識調査」「医師確保に係る調査」について:第3報の集計結果を元に検討を図り、報告書を取りまとめる委員を選任した。
- ②医師及び看護師の体制確保について:提言である「医師過疎地域勤務医師の処遇改善」の一部訂正を委員会の総意とした旨の報告。

(2) 医療経済・税制委員会(第8回・12月19日)

- ①手術時の医療材料に冠する調査について:対象病院を消費税調査の有効回答病院、手術材料の診療報酬上の評価に関する調査回答病院、病院経営分析調査・定点観測病院、これらに含まれない日赤病院とし、対象期間を18年4月1日～19年3月31日、対象手術を27項目とした。
- ②医療安全と物流効率化について:医薬品・医療機器トレサービリティ調査研究委員会の動向としては、トレサービリティ、共同購入についてのデジタル化について今後1年半をかけ基礎作成を検討する。また、海外

の実態調査を(財)流通システム開発センターで企画しており、この件について総務委員会で検討願うこととしている。

(3) 病院幹部医養成委員会(第2回・1月9日)

- ①第1回「医療の質を考えるセミナー」を4月20日(金)に予定し シンポジウム「総合的な患者相談窓口のシステム化の構築」「退院調整に関する諸問題」、昭和大学病院の施設見学。②第2回セミナーは10月19日(金)に、名古屋第二赤十字病院を予定し、次回委員会に企画(案)を検討。

(4) 中小病院委員会(第3回・1月10日)

- ①第57回日本病院学会(6/14~15日・茨城県・つくば市)でのシンポジウムを企画した。企画(案)は、テーマ「中小病院の生きる道を探る」、シンポジストは地元の会員を含め3名とし、座長は土井章弘委員とした。3月中にアンケートを実施し、集計結果を当日発表する。②情報交換会は、20年2月に岡山市で開催。

(5) 予防医学委員会/人間ドック健診施設機能評価合同委員会(第10回・1月11日)

- ①人間ドック健診施設機能評価について:1月11日現在、217施設から受審申請があり、累計認定施設数は137施設。②申請施設の審議について:3施設を承認し、1施設を認定留保とした。③機能評価バージョン2の検討案件について:院内ドック施設としての検査室の併用を協議し、“人間ドック健診を実施している施設”として同じであり、解釈の差異を明確に示すことで対応し、あくまでも核(コア)となる評価体系については同一のもので実施することとした。④各研修会の開催について:サーベイヤー委員会(3/8)、人間ドック認定医研修会(3/10)、特定健診・特定保健指導(確定版)研修会(4/20)の開催を了承した。⑤日本健康開発財団からの協力依頼について:ドック学会の情報提供を了承。⑥各種検討会報告について:労働安全衛生法における定期健康診断等に関する検討会(12/21)、標準的な健診・保険指導の在り方に関する検討会(1/10)の報告を了承。

(6) 日本人間ドック学会基本問題検討委員会(第6回・1月11日)

- ①人間ドック健診情報管理指導士の養成について:指導士の認定を行う対象者、受講料等を了承。②特定健診・特定保健指導研修会の開催について:4月20日(金)に東京厚生年金会館で開催。③本法人就業規則等について:就業規則、給与規定等を検討し、19年4月から適用することとした。現在、2名の派遣職員を正規の職員とすることも併せて了承。④本法人平成18年度決算及び平成19年度予算の一部修正について:一部修正(案)を了承。⑤厚生労働省からの依頼について:「特定保健指導のアウトソーシング先等実態調査」の依頼を本法人と日本病院会と連携し早急を実施することを了承。

(7) 雑誌・ニュース編集委員会(第2回・1月11日)

- ①総務委員会によるニュース、雑誌に対する要請について:要請内容を披露し実現に向け努力することを確認。②ニュース編集小委員会および雑誌編集小委員会の設置と取組み状況について:活動状況報告を了承。

(8) ニュース編集小委員会(第1回・11月13日)

- ①日本病院会ニュースの方向と編集方針について:紙面の理念・方向性、編集方針・体制等、紙面企画の関連について検討し、内容を了承。②ニュース1月1日(新春

- 特別号)の企画について:正副会長の年頭インタビュー記事を掲載することで了承。
- (9) ニュース編集小委員会(第2回・12月15日)
- ①紙面の理念・性格付けの基本的方向、基本的な紙面構成と課題等について検討を実施。
- (10) 雑誌編集委員会(第3回・12月26日)
- ①雑誌2月号の企画・編集について:掲載項目を了承。②雑誌の表紙と判型の変更について:2007年4月から表紙、従来のB5版からA4版に変更することを了承。
- (11) コーディング勉強会(18.12/12~12/17分を報告)
- ①全国7会場で開催し、225名の参加。②次回の開催予定について:1月13日~3月25日に全国29会場での開催予定を報告。③平成18年度の開催報告:参加者総数2,576人。
- (12) 事務管理者委員会(第1回・1月12日)
- ①今後の委員会活動について:病院経営管理等に関する調査・研究を実施、「病院経営管理者養成課程通信教育」修了者の継続研修、日本病院会会員病院事務職員の資質向上に努めることを確認した。②診療報酬改定について:意見交換を実施。
- (13) 国際委員会(1月11日)
- ①IHF関係について:中国・台湾問題、理事改選について検討。②AHF理事会について:5月7日か8日を予定し、議事次第(案)を検討。③AHF規約改正について:各国の改正提案を精査し、次回理事会への提案を実施。④IHF(2007年11月5~7日・ソウル)での協力について:協力要請内容を検討し、継続審議とした。等

2. 四病協関係の会議開催報告について

(1) 総合部会(第9回・12月20日)

- ①外部説明について:産業廃棄物適正処理推進センター基金への出えんについて環境省から基金の目的、活用状況、不法投棄の現状、対策について説明。「廃棄物処理法に基づく電子マニフェスト」についての仕組み、運用について説明を受け、会員病院での電子化推進への協力要請があつた。②日医・四病協「レセプトオンライン化に関する作業部会」の委員推薦等について:担当事務局は全日病とし、各団体からの委員推薦を年内に報告することとした。③7対1看護配置問題について:日病協代表者会議に四病協の「看護師確保対策等について(要望)」を提示するにあたり、病棟単位を取り入れず、7対1を取れる病院には看護必要度に配慮したハードルを設けることを確認した。当番団体から、潜在看護師の掘り起こし、ナースバンクの活用、看護師の届出制度の法制化等の項目付記について説明があり、了承。

3. 日病協諸会議の開催報告について

実務者会議(12月21日)の報告として、12月20日に開催した中医協の概要報告、平成20年度診療報酬改定に向けた各病院団体の主要要望事項、入院基本料7対1の影響について協議。代表者会議(12月22日)の報告として、WHO事務局長選挙の報告、厚労省との看護師事情についてのヒアリング、中医協等の動向報告。

4. 中医協の開催報告について

12月20日(水)に開催した総会では、薬価改定の頻度を含めた薬価算定基準の在り方(論点)がとりまとめられた。07年度の改定は行わず、08年度以降に検討する運びとなった。また、全国的に見た7対1の看護問題の影響状況等についての報告。

5. がん対策の推進に関する意見交換会(第3回)報告について

12月20日(水)にヒアリング団体として出席し、①緩和ケアチームによる緩和ケア外来の兼務の認容、②がん診療連携拠点病院の指定に関しては厚生労働省が責任を持ってがん診療の実績に見合った病院を指定すること、を意見提出。

6. 病院における薬剤師の業務及び人員配置に関する検討会(第1回)の報告

12月27日(水)の報告として、病院薬剤師の人員配置基準に関するいままでの経緯報告、病院における薬剤師の配置基準の変遷等について報告。今後、病院薬剤師の業務、配置の状況把握のため、実態調査を行う旨の報告を了承。

7. 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会(第4回)の報告

1月10日(水)の開催報告として、保健師数不足により特定保健指導を実施するための基盤整備が困難となり、特定保健指導の対象者、実施体制を見直すこととなり、健診・保健指導プログラム(暫定版)の見直しを図る。保健師の現状について実態調査を図ることとなった旨の報告。

8. 終末期医療の決定プロセスのあり方に関する検討会(第1回)の報告

1月11日(木)の開催報告として、この検討会では、医療のあり方をどのように決定すべきかが重要問題となる。ガイドライン(タタキ台)を作成するにあたり、18年9月15日から19年1月5日に意見募集を図り、その結果も披露されながら終末期医療の手続きなどを定めたガイドラインの策定を検討した。ガイドライン(タタキ台)では、①終末期医療及びケアのあり方②終末期医療及びケアの方針の決定手続について検討、意見交換が実施された旨の報告。ガイドラインの策定に関しご意見があれば提出願いたい旨を要請。

9. 第56回日本病院学会の収支決算報告及び監査報告について

収支決算、監査報告が提出されが、学会長が欠席のため、資料一読願う事です承。

10. 選挙告示の実施報告について

平成19年役員改選に伴い、12月1日に選挙人名簿を確定し、選挙告示を実施した。代議員の選出は19年1月25日、理事立候補届は19年2月9日までに選挙管理委員会まで提出。

11. 平成18年度「新年賀詞交換会」の開催について

本日開催される新年賀詞交歓会の開催要領について報告。

12. 「日本診療情報管理士会」事務局設置及び事務業務取扱い依頼について

日本診療情報管理士会（日本診療情報管理士協会、日本診療情報管理機構、診療情報管理東京ネットワーク）の発足にあたり、事務局を日本病院会に設置し、取り扱い業務の援助依頼があり、了承されている旨の報告。

提出議案の審議を終了し、定刻に議了した。